

健保システム

【概要】

健保システムは、基本的にレセプト（医療機関からの医療費の請求書）をデータ化し、健康保険組合が医療機関に支払う金額及び被保険者に給付する高額療養費等の金額を算出・提示するシステムです。また、要望に応じて健康保険組合での経理業務等業務全般を支援することが可能なシステムです。クライアントサーバ方式により、全てをオンラインで行うため、処理期間の短縮が期待できるとともに、レセプト処理については、OCR処理を取り入れているので、手入力のみには比べはるかに手間がかかりません。

【特徴】

- ・ 組合員数約16万人、年間レセプト枚数約400万枚規模の健康保険組合向けシステムとして10年間の稼働実績があります。
- ・ Windowsベースで開発されていますので、比較的安価なPCサーバを利用したシステム構築が行えます。また、汎用機システムに比べ、導入や維持管理を容易に行うことができます。
- ・ セミオーダー製品のため、基本部分はそのままに、健康保険組合の運用にあわせてカスタマイズを行うことで、環境のスムーズな移行を実現することが可能です。完全なオーダーメイドで作成するよりも安価で短納期に、パッケージ商品よりも柔軟性のあるものになっています。

【展開】

健保組合以外の共済組合、国保組合などのシステム開発についてもご相談に応じます。

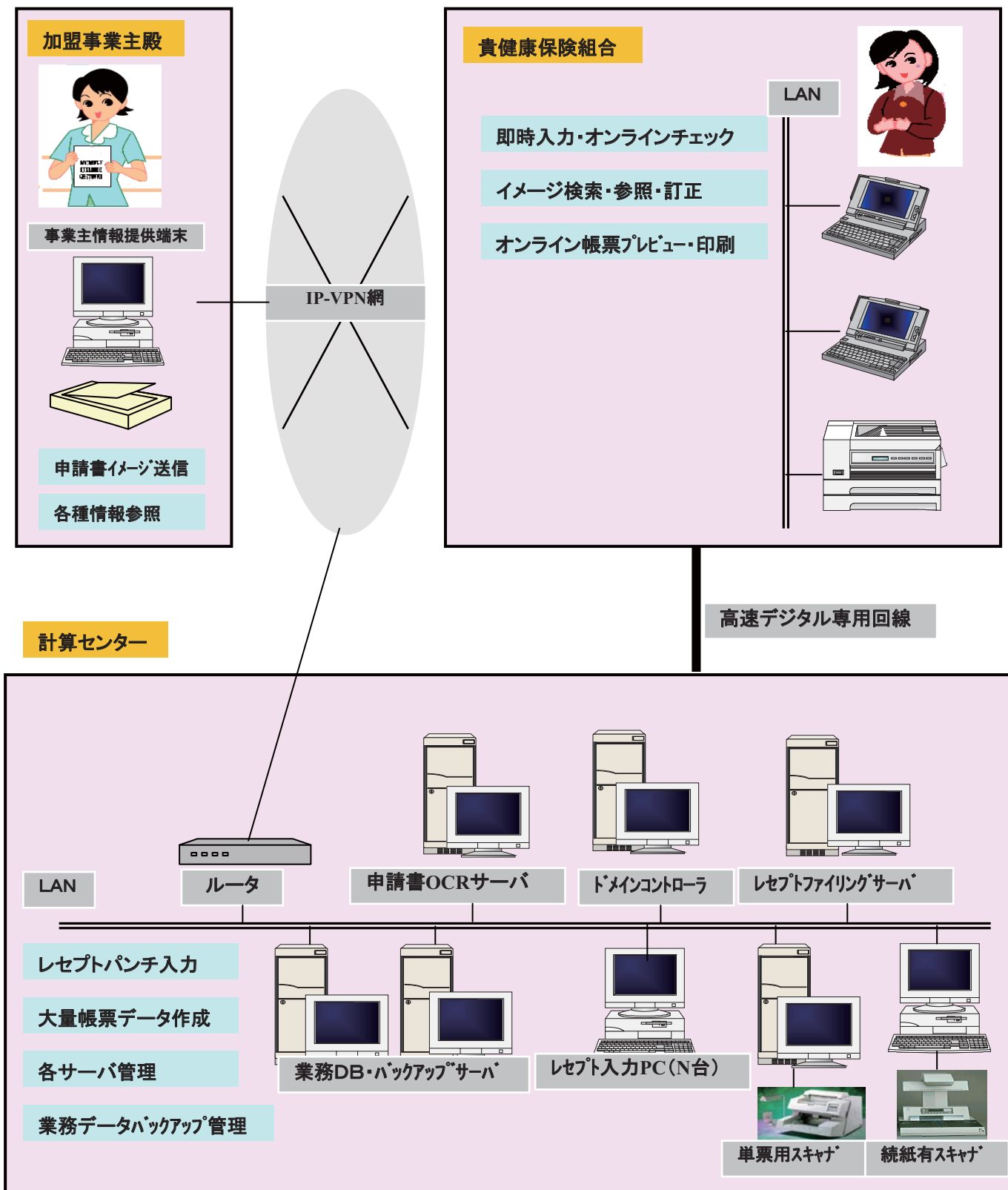


図1 健保システム構成例